

September 4, 2020

【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均 1025ドル下落で、106.55円から106.00円へ下落

3日のニューヨーク外国為替市場でドル円はほぼ横ばい。終値は106.19円と前営業日NY終値(106.18円)と比べて1銭程度のドル高水準だった。時間外の米10年債利回りが一時0.66%台まで上昇したことが支援材料となり、106.55円と日通し高値を付けたものの、NY勢が本格参入すると一転売りが優勢となった。アップルなどこれまで相場上昇をけん引してきた大型ハイテク株が利益確定売りに押されて米国株相場が急落。投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ドル売りが広がった。米10年債利回りが0.6023%前後まで低下したことも相場の重しとなり、106.00円まで反落した。

ダウ平均は一時1000ドル超下落したほか、ナスダック総合は5.7%超の急落となった。ナイト・セッションの日経平均先物は日経終値比500円安の2万2970円を付ける場面があった。「金融緩和の期待を背景に投機色の強かった相場に調整が入った。相場は先行きも不安定になるとの見方が多い」との声が聞かれた。

ユーロドルは小幅ながら3日続落。終値は1.1852ドルと前営業日NY終値(1.1855ドル)と比べて0.0003ドル程度のユーロ安水準。欧州序盤に1.1789ドルと日通し安値を付けたものの、売り一巡後は徐々に下値を切り上げた。米長期金利の低下に伴うユーロ買い・ドル売りが優勢となり、1.1865ドルの日通し高値を付けた。

前週分の米新規失業保険申請件数は予想より強い数字となった一方、8月米ISM非製造業景気指数は予想を若干下回るなど、強弱入り混じる内容だった。

ユーロ円も小幅続落。終値は125.85円と前営業日NY終値(125.88円)と比べて3銭程度のユーロ安水準。ドル円の上昇につれた円売り・ユーロ買いが先行すると126.02円と日通し高値を付けたものの、米国株の急落とドル円の下落を受けて125.31円付近まで押し戻された。

【本日の東京為替見通し】ドル円、今夜の米8月雇用統計を控えて動意に乏しい展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、今夜発表される米8月雇用統計を控えて動意に乏しい展開が予想される。

米8月雇用統計は、パウエルFRB議長は、FRBの2つの使命デュアルマニデート(雇用最大化と物価安定)の内、「雇用最大化」を重視して、「物価安定」は2%超のインフレ率を容認する新戦略を打ち出したことで、注目度が増している。15-16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、フォワードガイダンスの強化や量的金融緩和の拡大観測が高まっていることで、ドル売り圧力が高まりつつある。

米国8月の非農業部門雇用者数の予想は、前月比+140万人と、7月の前月比+176.3万人から雇用者数の増加の減少が見込まれている。しかしながら、8月の米雇用関連指標は、改善を示していることで、判断を許さない状況となっている。

■米国雇用関連指数	【8月】	【7月】	(○改善・●悪化)
●非農業部門雇用者数(予想)	+140万人	+176.3万人	
○ISM製造業雇用指数	46.4	44.3	
○ISM非製造業雇用指数	47.9	42.1	
○ADP全米雇用者数	42.8万人	21.2万人	
○失業保険継続受給者数	1453.5万人	1695.1万人	(▲241.6万人)
○シカゴ購買部協会雇用景気指数	+0.9	改善	

昨日のダウ平均は、一時1025ドル下落し、▲807.77ドルで引けている。

ダウ平均は1919年の100ドル程度から2020年には史上最高値となる29000ドル台まで上昇し、100年間で290倍となっている。しかし、9月に限れば57回陰線、10月は39回陰線となり、下落率トップ15の内、1929年の暗黒の木曜日や1987年のブラックマンデーなど9回が起きており、ウォール街にとっては憂鬱な季節となっている。

今月は、本日の米8月雇用統計や15-16日のFOMCでの新戦略、米大統領選挙の不透明感、米中対立激化などに要警戒となる。

中国共産党の機関紙「人民日報」系列紙・環球時報は、「中国が米国債保有を減らす可能性がある」という観測記事を掲載している。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 10:30 ◎ 7月豪小売売上高（予想：前月比 3.3%）
- 15:00 ◎ 7月独製造業新規受注（予想：前月比 5.0%／前年同月比▲6.0%）
- 15:45 ◇ 7月仏財政収支
- 15:45 ◇ 7月仏経常収支
- 17:30 ◎ 8月英建設業購買担当者景気指数(PMI、予想：58.5)
- 18:25 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 21:30 ☆ 8月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化 27.5 万人／失業率 10.1%）
- 21:30 ☆ 8月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化 140.0 万人／失業率 9.8%／平均時給、前月比横ばい／前年比 4.5%）
- 23:00 ◇ 8月カナダ Ivey 購買部協会景気指数
- 28日 00:50 ◎ レーン欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 5日 01:00 ◎ 8月ロシア消費者物価指数（CPI、予想：前月比▲0.1%）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

3日 06:23 フライデンバーグ豪財務相
「減税を前倒しで実施する計画がある」

3日 07:48 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁
「これほどまでに財政支援の役割が強くなったことはない」
「金利に関するさらなるフォワードガイダンスを与える必要性を感じない」
「さらなる刺激を供給するために債券購入を活発化する余地はある」
「平均2%のインフレと雇用の不足が相殺されるまで、緩和的な政策を示すために長い道のりを歩むことになる」
「インフレ率を2%で平均化する期間は経済状況によって異なる」

3日 10:49 片岡日銀審議委員
「物価が勢いをもって2%の物価安定の目標に近づいていく状況を見通すことは難しい情勢」
「長短金利操作に関しては、政策金利の維持ではなく低下を明示したうえで、積極的な国債買入れを行うことが適当」
「政策金利の引き下げによって、企業・家計の金利負担を軽減し、今後のデフレ圧力を可能な限り抑えることが必要」
「物価が目標と乖離した場合に追加緩和を約束することが有効」

3日 11:41 菅官房長官
「憲法改正は国民が決めるもの、憲法審査会で各党の案示し野党含め議論すべき」
「消費税、全世代型社会保障のために必要」
「解散・総選挙は次の内閣が判断すること」
「地銀再編、経営基盤強化の一つの選択肢」

3日 22:42 イングベス・リクスバンク(スウェーデン中銀) 総裁
「金融政策レポートで度々述べてきたが、インフレが目標から多少上回っても問題はない」
「ここ最近の経済の進展は予想に沿ったもの」

3日 23:14 トルコ中銀
「中期的にインフレは弱まると予測」

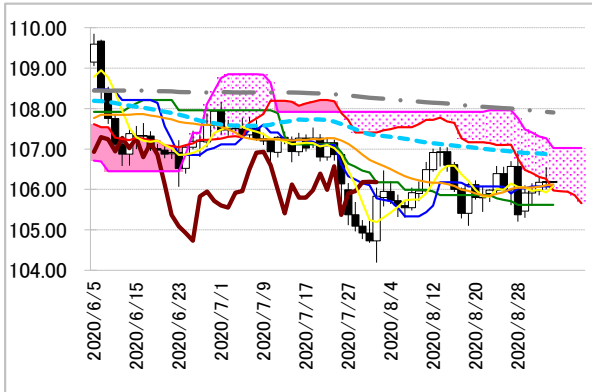
4日 01:12 ポスティック米アトランタ連銀総裁
「ウィルスからの(経済)回復は長期にわたる」
「米連邦準備理事会(FRB)は今まで以上に景気刺激をする気だ」
「インフレが目標より大きく上回らない限り、そのまま経済が活気づくの待つのが心地よい」
「雇用の義務を無視はしていなかったが、インフレと雇用の関係が変化していることには理解している」

4日 02:36 エバンス米シカゴ連銀総裁
「もし新たな財政支援がなければ経済回復はかなり遅くなるだろう」
「金融政策は失業率が7%まで下がったら大きな役目を果たすようになるが、現時点は財政政策が最も重要だ」
「新しい枠組みでは2.5%のインフレで満足する」

4日 04:25 メスター米クリーブランド連銀総裁
「債券購入の構成を変更する必要はないだろう」
「FRBのフォワードガイダンスは最終的に改定する必要があるだろう」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

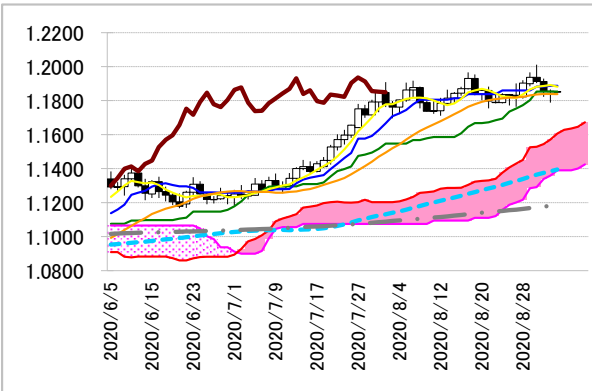


<ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

寄り引線。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開。しかし、4手連続陽線で反発したものの、28日の大陰線を上回ることが出来なかったこと、寄り引線により、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	107.02(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	106.19
サポート1	105.62(日足一目均衡表・基準線)
サポート2	105.20(8/28 安値)

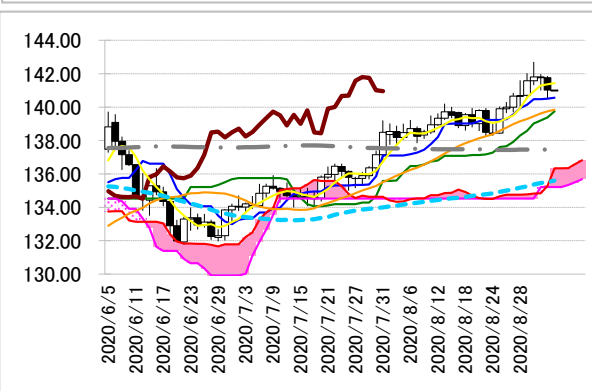


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での孕み線、3手連続陰線で転換線を下回って引けていること、逆行現象(ダイバージェンス)などで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1887(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1852
サポート1	1.1763(8/27 安値)

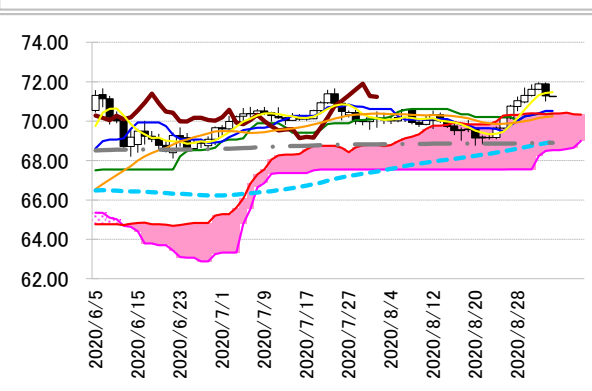


<ポンド円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陰線で反落しているものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	142.72(9/1 高値)
前日終値	141.03
サポート1	140.57(日足一目均衡表・転換線)



<NZドル円=9/2 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、高値圏での抱き線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、9月2日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	71.98(9/2 高値)
前日終値	71.28
サポート1	70.53(日足一目均衡表・転換線)

